

研修のねらい

- 政策形成を踏まえた企画書の基本構成を学習します。
- 将来に備えて課題を創造し解決する能力を養います。
- 事業のスクラップ&ビルドの意識が高まります。

企画立案の対象となる問題は、将来に備えて課題を創造し解決の手立てを図る(企画的問題)のものであり、発生済みの問題解決(一般的問題)ではありません。

「企画的問題」ではまず、「高齢者に優しい街をつくるべきか」それとも「高齢者が元気になる街をつくるべきか」など、企画コンセプトを創発する能力が求められます。私たちは「一般的問題」と遭遇したときに、その問題の原因はどこにあるのかと“探し”、次にその問題を“どのように”解決しようかと探索的・手段的なアプローチを無意識に選択します。これは「一般的問題」では、問題解決行動の前に“何が問題なのか”を私たちが知っていることを示しています。しかし、「企画的問題」では、あるべき姿は明確な形では存在しておらず、原因も存在しません。その解決のためには、概念モデルを用いた体系的なアプローチが必要です。

この研修では、企画立案のプロセスを体系的に理解し、企画立案の全体像の把握とその解決までの実践的方法を学び、職員の企画立案力を高めます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合政策機関としての役割 1. 地方自治体の課題と今後の方向 <ul style="list-style-type: none"> (1) 3つの社会環境変化 (2) 行政環境の内と外 2. 企画立案の基礎的概念 <ul style="list-style-type: none"> (1) 問題解決と企画立案 (2) 創発力と概念化能力 	<ul style="list-style-type: none"> 5. 企画(手段)の選定 <ul style="list-style-type: none"> (1) 手段の構造化 (2) 手段の選定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◇ 演習 ◇ 「手段の洗い出しと選定」 </div> 6. 手順策定と事前評価 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業の明確化 (2) 手順策定 (3) 実効性の事前評価項目
午後	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企画立案の手順とその手法 3. 企画立案の全体像 4. 企画コンセプト(方向性の策定) <ul style="list-style-type: none"> (1) 政策領域の設定 (2) 企画コンセプトの明示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◇ グループ討議 ◇ 「企画テーマの選定と企画コンセプトの明示」 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> 7. 企画書作成のポイント <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画書の構成 (2) 企画書作成の技法 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◇ 実習 ◇ 「企画書の作成」 </div> 8. 事業評価の実際 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◇ 事例研究 ◇ 「事業の事前評価」 </div> 9. まとめ